

平成 30 年度
あきる野市国民健康保険の医療費分析

令和 2 年 2 月
あ き る 野 市

—目 次—

	ページ
第1章 現状の把握	
1 市の現状	1
(1) 人口の推移	1
(2) 年齢別人口構成	1
(3) 平均寿命	2
(4) 合計特殊出生率の状況	2
(5) 死亡の状況	3
2 国民健康保険の現状	4
(1) 被保険者数の推移	4
(2) 被保険者数の年齢構成比較	4
(3) 世帯数の推移	5
(4) 1世帯当たりの被保険者数の推移	5
(5) 医療機関の状況	5
3 保健事業などの実施状況	6
(1) 国民健康保険事業における取組状況	6
(2) 国民健康保険事業以外の市の取組状況	6
第2章 医療及び健診状況の分析	
1 医療データの分析	8
(1) 国民健康保険（市町村国保）の医療費の状況	8
(2) 被保険者1人当たりの医療費の推移	8
(3) 年齢別 被保険者一人当たり医療費	8
(4) 大分類別 疾病分類別医療費の状況	9
(5) 細小分類別 疾病分類別医療費の状況	11
(6) 生活習慣病に係る医療費の状況	13
(7) がんに係る医療費の状況	20
(8) 精神疾患に係る医療費の状況	21

第1章 現状の把握

1 市の現状

(1) 人口の推移

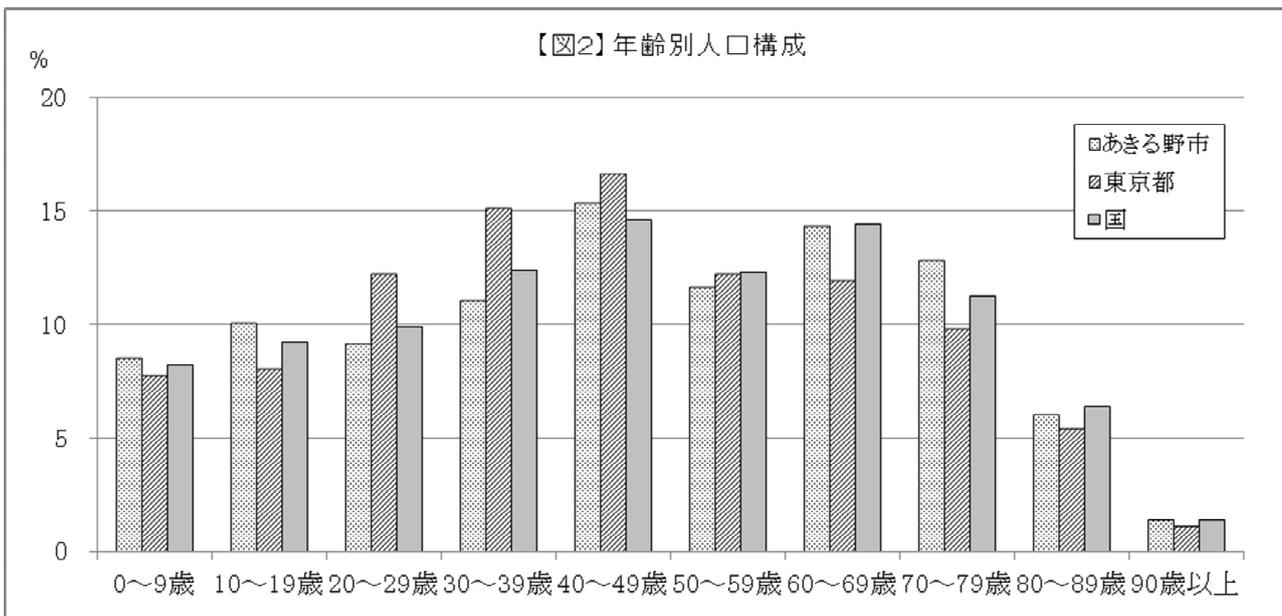
図1は平成22年～令和元年の10月時点での年齢別人口構成である。平成22年と令和元年を比較すると、14歳以下は1,496人減、15歳から64歳は3,962人減、65歳以上は4,967人増で、総人口は491人減となっている。



(資料：平成22～令和元年住民基本台帳・外国人登録・総人口)

(2) 年齢別人口構成

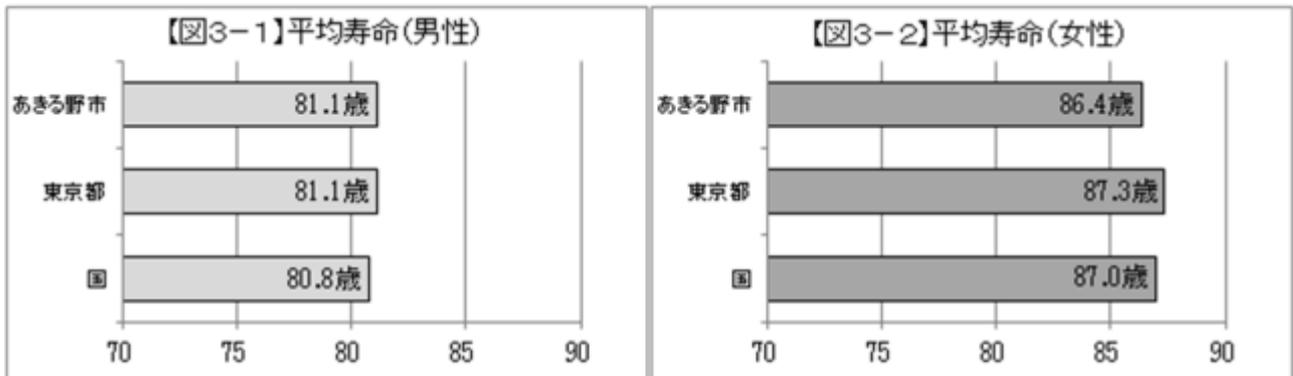
本市は国と同様に老年人口の割合が高く、稼働年齢層の割合が高い東京都と比較すると、高齢化が進んでいる状況にある。



(資料：平成27年度国勢調査)

(3) 平均寿命

本市の平均寿命について、女性は国や東京都と比較して若干低い傾向にあり、男性は国の平均寿命を上回っている。

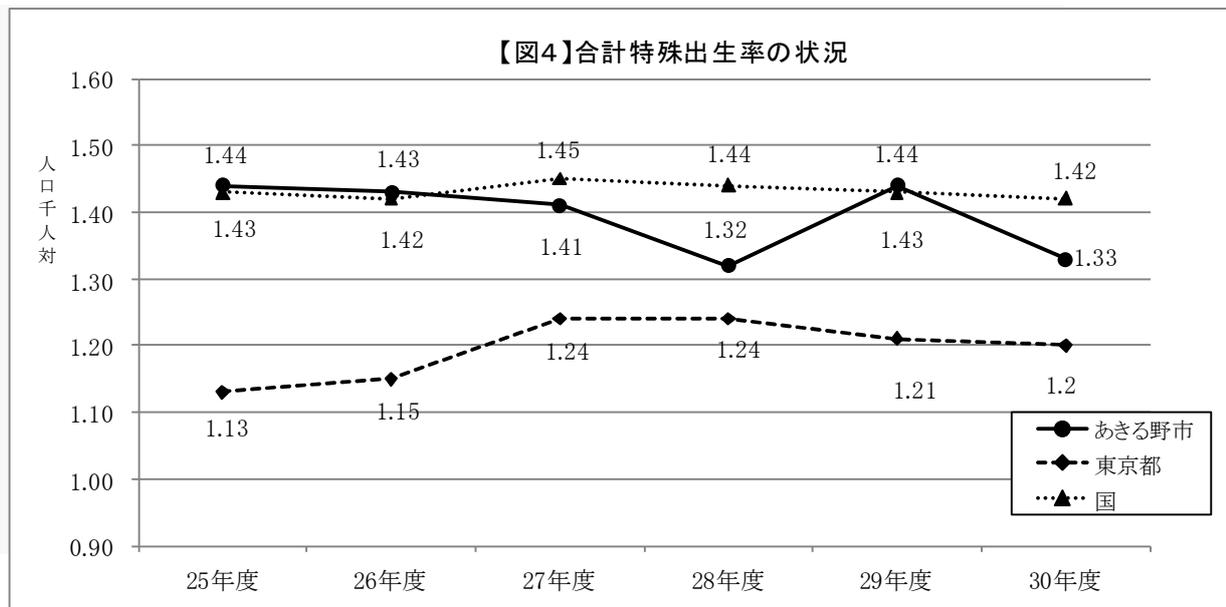


(資料：KDBシステム「地域の全体像の把握」)

(4) 合計特殊出生率の状況

合計特殊出生率は15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、1人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。

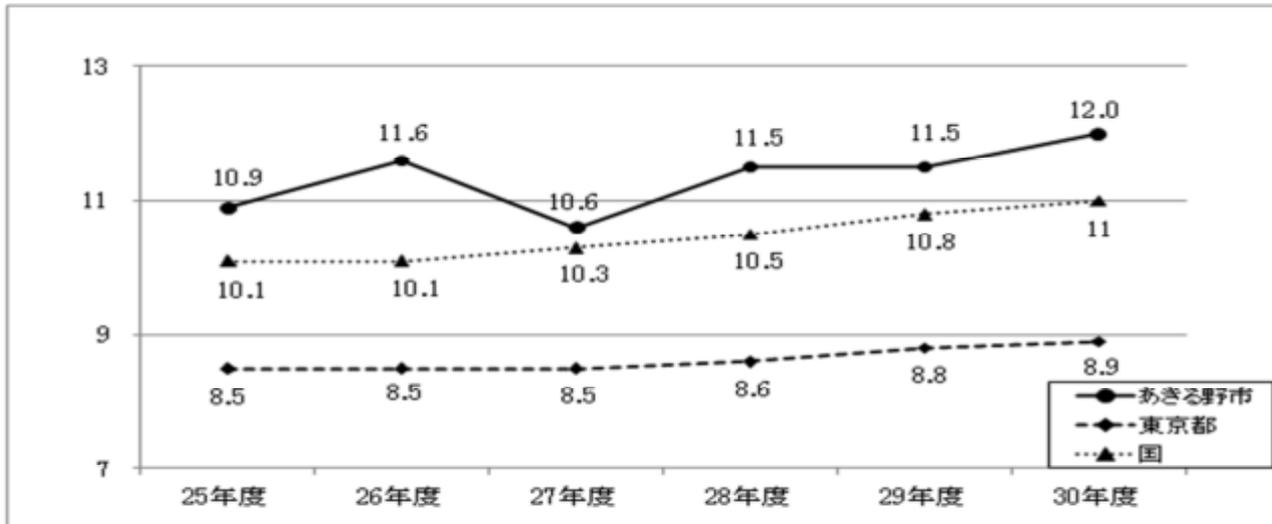
本市の合計特殊出生率は、国と比較すると低いが、東京都と比較すると高くなっている。平成30年の区市町村別順位は、61区市町村中20位となっている。



(資料：平成30年度 厚生労働省「人口動態調査」及び東京都福祉保険局「人口動態統計」)

(5) 死亡の状況

死亡率は、1年間で千人のうち何人死亡したかを表したものである。本市の死亡率は、国、東京都よりも高い。



(資料：平成30年度 厚生労働省「人口動態調査」及び東京都福祉保険局「人口動態統計」)

SMR (死因別標準化死亡比) は以下のとおり。SMRとは、異なった年齢構成を持つ地域の死亡率が比較できる指標であり、全国を100としている。本市のSMRが100以上の場合は全国平均よりも死亡率が高いと言える。

	男性			女性		
	SMR	死亡数	過剰死亡数	SMR	死亡数	過剰死亡数
死亡総数	97.1	2021	-60	117.0 *	2114	307
悪性新生物	85.6 *	598	-101	99.3	430	-3
" (胃)	85.5	93	-16	87.1	46	-7
" (大腸)	113.5	91	11	115.5	73	10
" (肝及び肝内胆管)	67.7 *	48	-23	93.8	31	-2
" (気管、気管支及び肺)	79.6 *	132	-34	112.6	66	7
心疾患(高血圧性疾患を除く)	79 *	231	-61	101	327	3
急性心筋梗塞	83.4	65	-13	86.7	52	-8
心不全	101.9	85	2	128.9 *	178	40
脳血管疾患	145.2 *	284	88	145.8 *	298	94
脳内出血	132.5 *	81	20	153.6 *	71	25
脳梗塞	130.4 *	147	34	139.4 *	177	50
肺炎	132.5 *	275	67	144.4 *	264	81
肝疾患	57.2 *	20	-15	111.8	19	2
腎不全	87.9	32	-4	111.2	45	5
老衰	136.5 *	52	14	182.3 *	236	107
不慮の事故	46.5 *	38	-44	51.3 *	29	-28
自殺	86.3	57	-9	77	20	-6

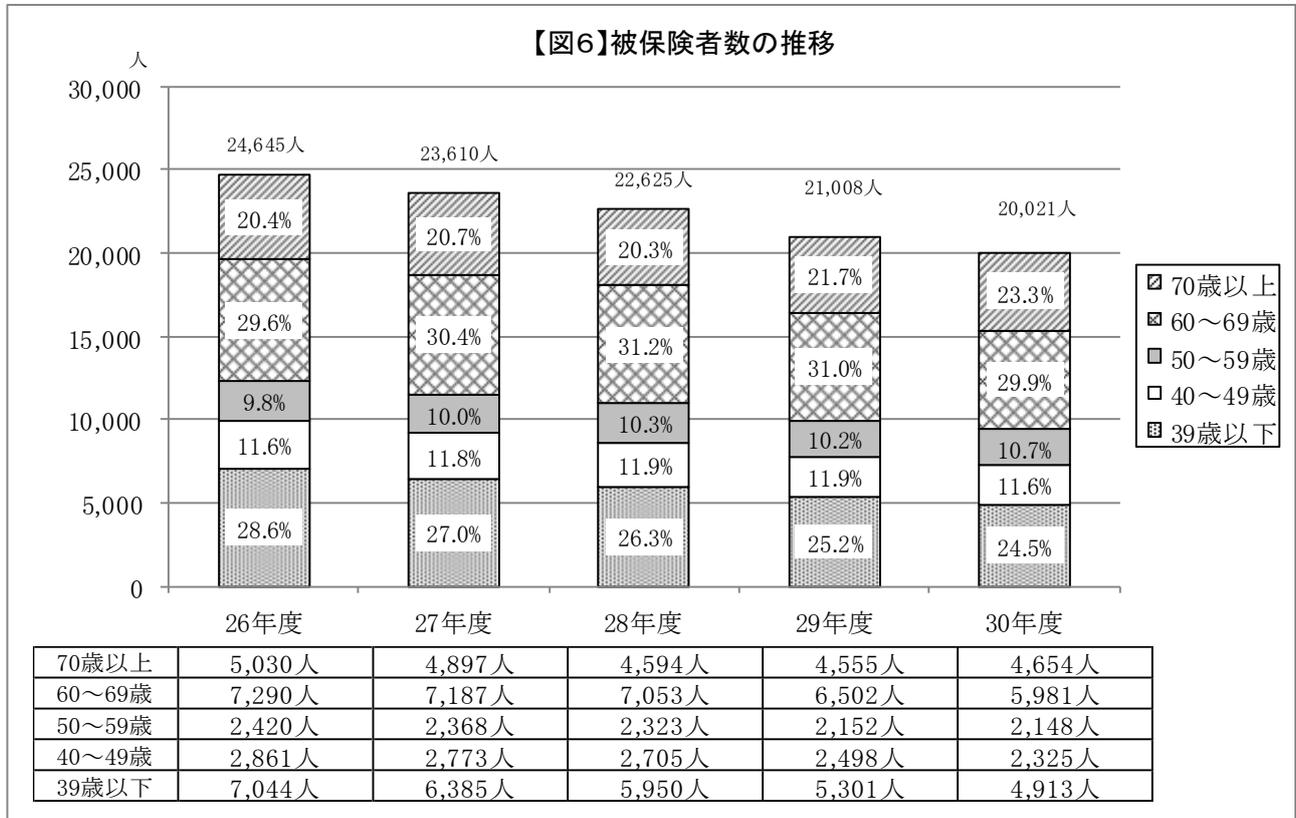
(資料：厚生労働省科学研究所HP 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「平成20～24年 死因別標準化死亡比(SMR)数値表」)

*の付いている値は、全国との比較で両側検定0.05以上の有意差が認められる数値であり、本市で特徴的な数字である。

2 国民健康保険の現状

(1) 被保険者数の推移

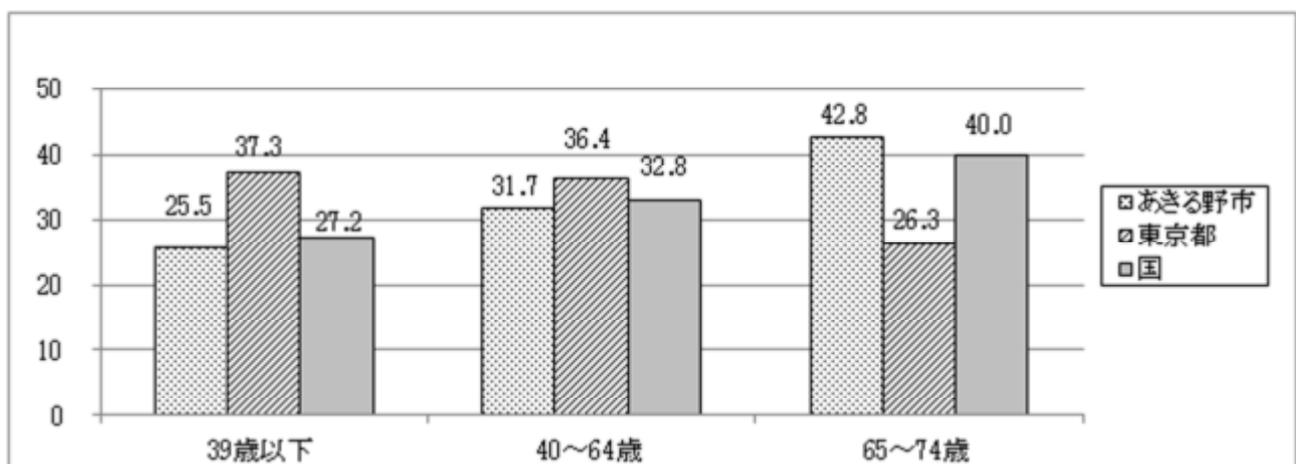
過去5年の推移を見ると、本市の被保険者数は、平成26年度から減少傾向に転じており、平成27年度からは70歳以上を除く年齢層で減少している。39歳以下の若年層の割合が減少する一方、60歳以上の割合が高まっている。



(資料：国民健康保険実態調査)

(2) 被保険者数の年齢構成比較

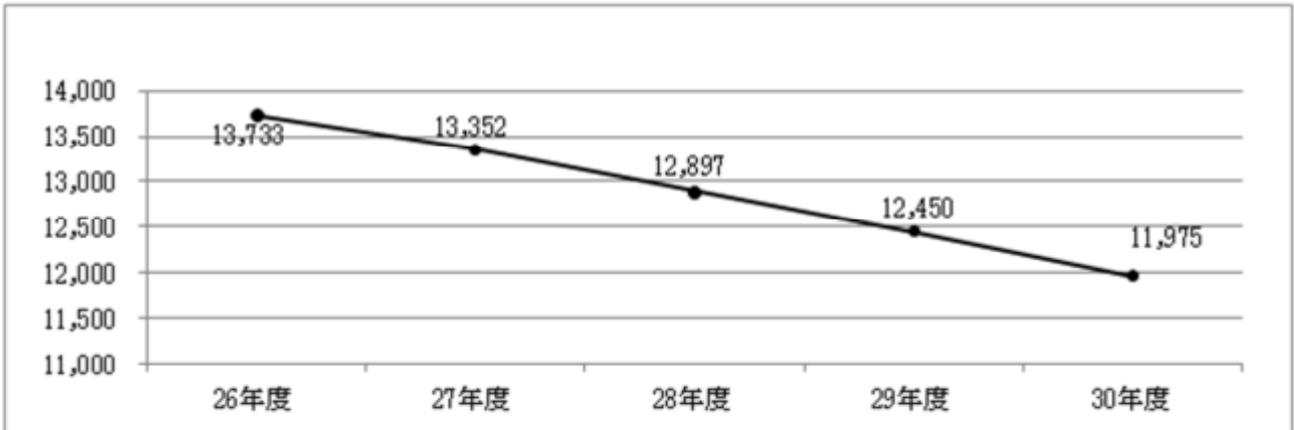
東京都と年齢構成を比較すると、本市では、39歳以下の世代の割合が低く、65歳以上の世代の割合が高くなっており、東京都の中でも高齢化が進んでいる状況であることが分かる。



(資料：KDBシステム「地域の全体像の把握」)

(3) 世帯数の推移

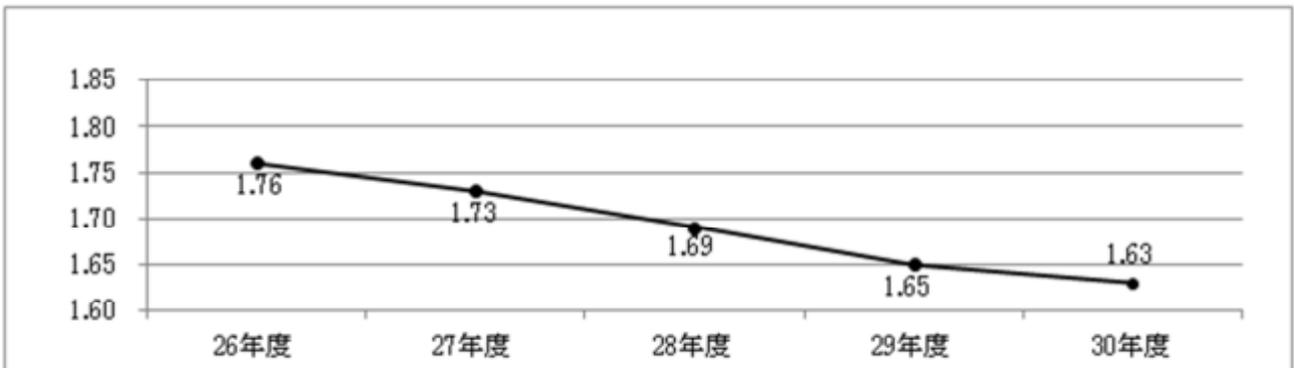
平成26年度からは減少傾向となっており、被保険者数の減少とともに減少している。



(資料：国民健康保険事業状況報告書)

(4) 1世帯当たりの被保険者数の推移

平成26年度からの推移を見ると、減少傾向にあり、単身世帯もしくは世帯員の中で一人だけ国保を取得するようなケースが増えている。



(資料：国民健康保険事業状況報告書)

(5) 医療機関の状況

千人当たり病床数が少ないのは東京都としての傾向と言える。診療所数と医師数は国・都と比較して少なく、患者数は他と比較して大差がないため、医師の負担が大きくなっていることが考えられる。

	あきる野市	東京都	国
千人当たり			
病院数	0.2	0.1	0.3
診療所数	2.2	3.0	3.3
病床数	29.6	29.4	50.7
医師数	5.0	10.1	10.4
外来患者数	664.0	606.4	681.5
入院患者数	19.0	13.1	18.6

(資料：KDBシステム「地域の全体像の把握」)

3 保健事業などの実施状況

(1) 国民健康保険事業における取組状況

①特定健康診査

対象者：40歳から74歳までの国民健康保険被保険者

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
対象者数	18,045人	17,677人	17,237人	16,328人	15,565人
受診者数	9,009人	8,792人	8,457人	8,190人	7,820人
受診率	49.93%	49.74%	49.06%	50.16%	50.24%

②特定保健指導

対象者：特定健康診査において、メタボリックシンドローム判定基準などにより対象となった者

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
対象者数	1,003人	893人	900人	872人	823人
受診者数	236人	159人	138人	86人	134人
受診率	23.53%	17.81%	15.33%	9.86%	16.28%

③ジェネリック医薬品差額通知

対象者：年3回の対象月の受診者のうち、生活習慣病や慢性疾患で服用する医薬品をジェネリック医薬品へ変更した場合の自己負担額軽減額が、1か月当たり100円以上となる国民健康保険被保険者（悪性新生物の患者などを除く）

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
通知数	3,306件	3,118件	2,543件	2,719件	2,052件
削減効果（数量ベース）	56.1%	61.2%	66.1%	68.5%	74.6%

※削減効果は、各年度末（3月調剤分）における新指標数値

(2) 国民健康保険事業以外の市の取組状況

①胃がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	4,848人	5,058人	5,044人	5,145人	4,955人
要精密検査数	378人	317人	184人	272人	242人

②肺がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	4,849人	5,240人	5,335人	5,506人	5,624人
要精密検査数	73人	63人	55人	48人	39人

③大腸がん検診

対象者：35歳以上の市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	10,469人	11,238人	11,126人	11,136人	11,102人
要精密検査数	654人	744人	683人	670人	671人

④乳がん検診

対象者：30歳以上の市民（女性）

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	3,519人	3,142人	3,415人	3,161人	3,260人
要精密検査数	257人	182人	207人	179人	187人

⑤子宮がん検診

対象者：20歳以上の市民（女性）

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	3,508人	2,771人	3,200人	2,731人	3,010人
要精密検査数	31人	33人	37人	23人	39人

⑥前立腺がん検診

対象者：50歳以上の市民（男性）

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	3,945人	4,219人	4,254人	4,429人	4,526人
要精密検査数	314人	389人	368人	365人	368人

⑦ピロリ菌検診

対象者：20歳、25歳、30歳、35歳及び39歳の市民

年 度	29年度	30年度
受診者数	196人	1,009人
要精密検査数	18人	56人

⑧歯周病検診

対象者：40歳、50歳、60歳及び70歳の市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	421人	429人	474人	531人	480人
要精密検査数	352人	350人	404人	241人	236人

⑨口腔がん検診

対象者：60歳以上の市民

年 度	28年度	29年度	30年度
受診者数	238人	217人	210人
要精密検査数	7人	9人	3人

⑩骨粗しょう症検診

対象者：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の市民（女性）

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	127人	124人	140人	148人	129人
要精密検査数	44人	50人	39人	46人	49人

⑪肝炎ウイルス検診

対象者：40歳以上で過去に市が行った肝炎ウイルス検診を受けたことがない市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	1,009人	1,010人	765人	785人	1,017人
要精密検査数	3人	2人	4人	4人	12人

⑫結核検診

対象者：65歳以上の市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	7,989人	8,476人	8,444人	8,647人	8,792人
要精密検査数	286人	329人	118人	126人	192人

⑬生活習慣病予防健康診査

対象者：35歳から39歳までの市民

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	141人	111人	125人	88人	87人

第2章 医療及び健診状況の分析

1 医療データの分析

(1) 国民健康保険（市町村国保）の医療費の状況

医療費総額の推移は、被保険者数の減少などに伴い平成28年度からは減少の傾向にある。本市の医療費は26年度と30年度と比較すると7.1%の減少となっている。

(単位：百万円、%)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	対26年度増減
国	医療費	11,128,011	11,327,283	10,832,004	10,589,467	10,282,608	△ 845,403
	伸び率	0.4	1.8	△ 4.4	△ 2.2	△ 2.9	△ 7.6
東京都	医療費	1,068,137	1,081,361	1,034,182	1,007,238	972,865	△ 95,272
	伸び率	0.0	1.2	△ 4.4	△ 2.6	△ 3.4	△ 8.9
あきる野市	医療費	7,318	7,398	7,284	7,032	6,797	△ 520
	伸び率	2.6	1.1	△ 1.5	△ 3.5	△ 3.3	△ 7.1

(資料：国民健康保険中央会「医療費速報」、国民健康保険事業状況報告書)

(2) 被保険者1人当たりの医療費の推移

被保険者1人当たりの医療費を比較すると、いずれも増加が続いている。本市の医療費水準は、国及び東京都より低い状況にあったが、高齢化により平成26年度以降は東京都を上回っている。本市の1人当たりの医療費は、26年度と30年度と比較すると14.0%の増加となっている。

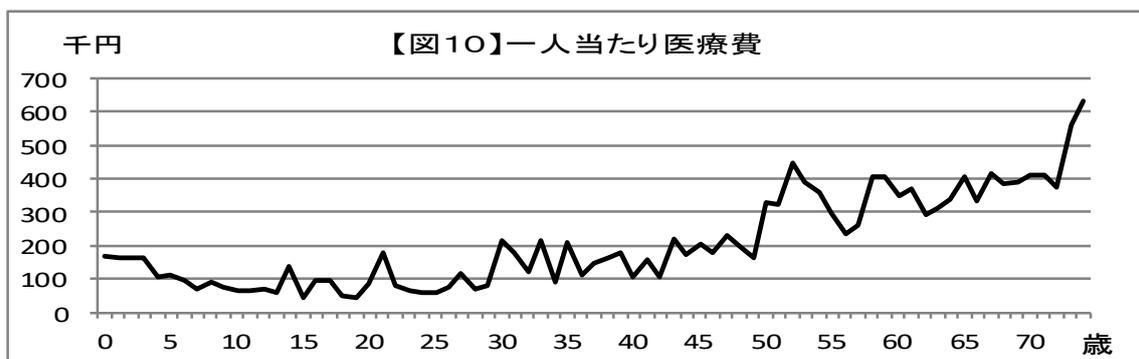
(単位：円、%)

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	対26年度増減
国	医療費	330,628	347,801	348,175	359,552	364,384	+33,756
	伸び率	2.9	5.2	0.1	3.4	4.7	+10.2
東京都	医療費	293,611	306,551	306,503	315,560	317,727	+24,116
	伸び率	2.2	4.4	0.0	3.0	0.7	+8.2
あきる野市	医療費	296,533	312,053	322,736	332,846	337,984	+41,451
	伸び率	5.5	5.2	3.4	3.1	1.5	+14.0

(資料：国民健康保険中央会「医療費速報」、国民健康保険事業状況報告書)

(3) 年齢別 被保険者一人当たり医療費

年齢別に被保険者一人当たりの医療費を見ると、0歳から15歳にかけて減少し、以後は加齢に伴い増加する。

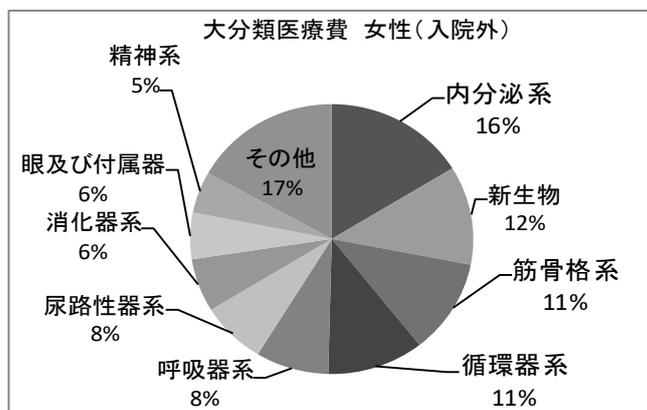
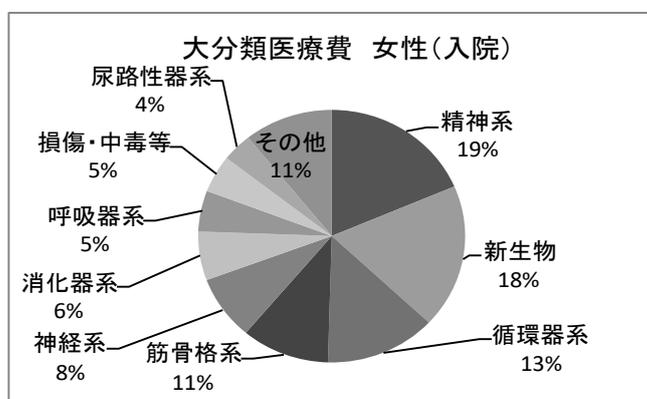
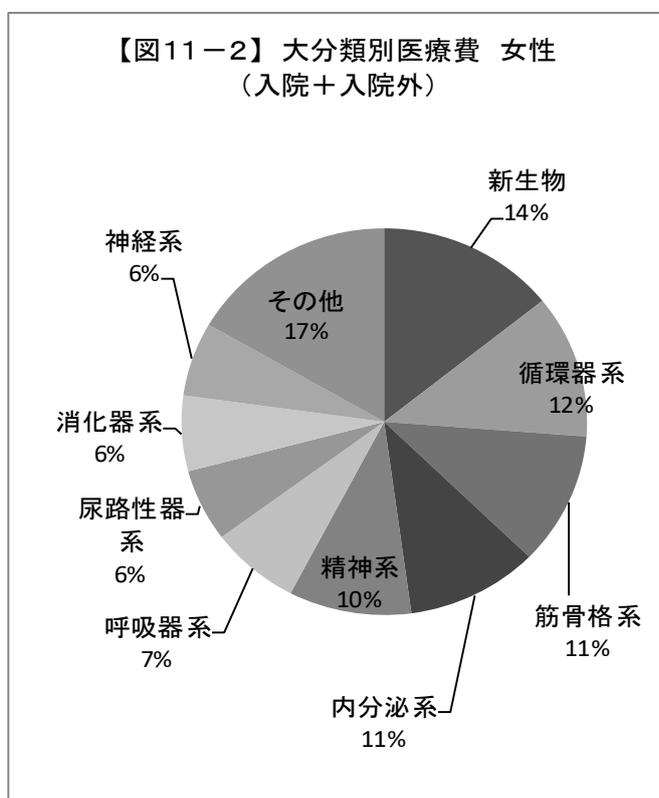
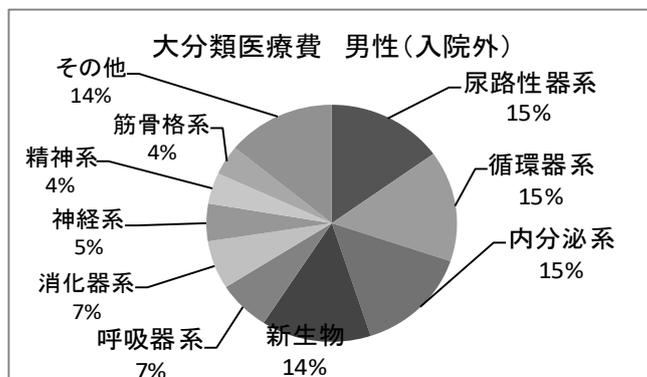
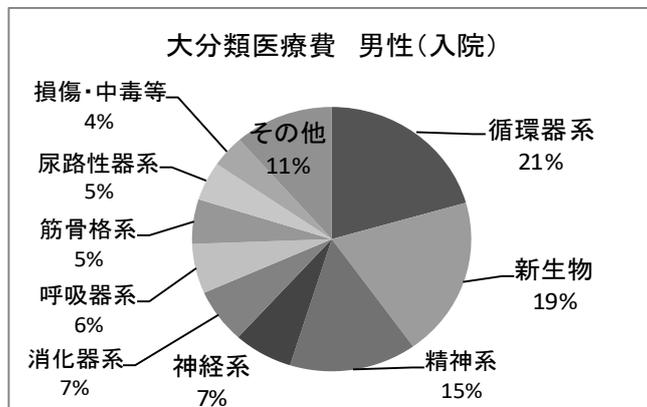
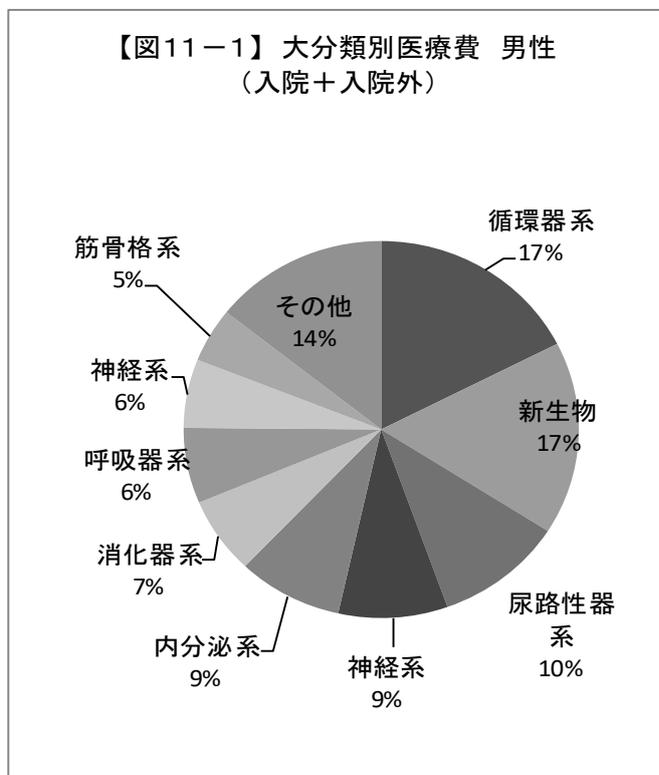


(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(大分類)」)

(4) 大分類別 疾病分類別医療費の状況 (あきる野市 平成30年度)

①疾病別 医療費の割合

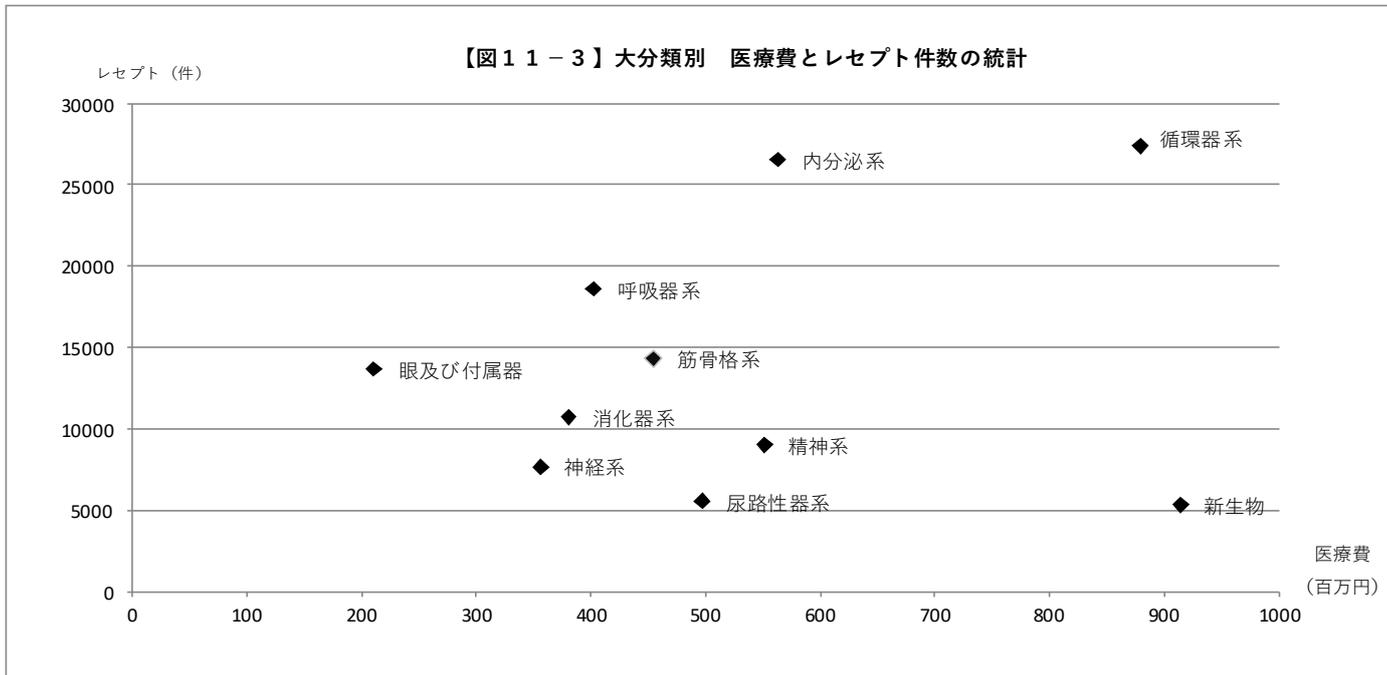
全体では、男性は「循環器系」「新生物」「尿路性器系」の順に割合が高く、女性では「新生物」「循環器系」「筋骨格系」の順であった。入院、入院外でも男女間で差がある。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(大分類)」)

②疾病別 医療費とレセプト件数の統計（医療費上位10分類）

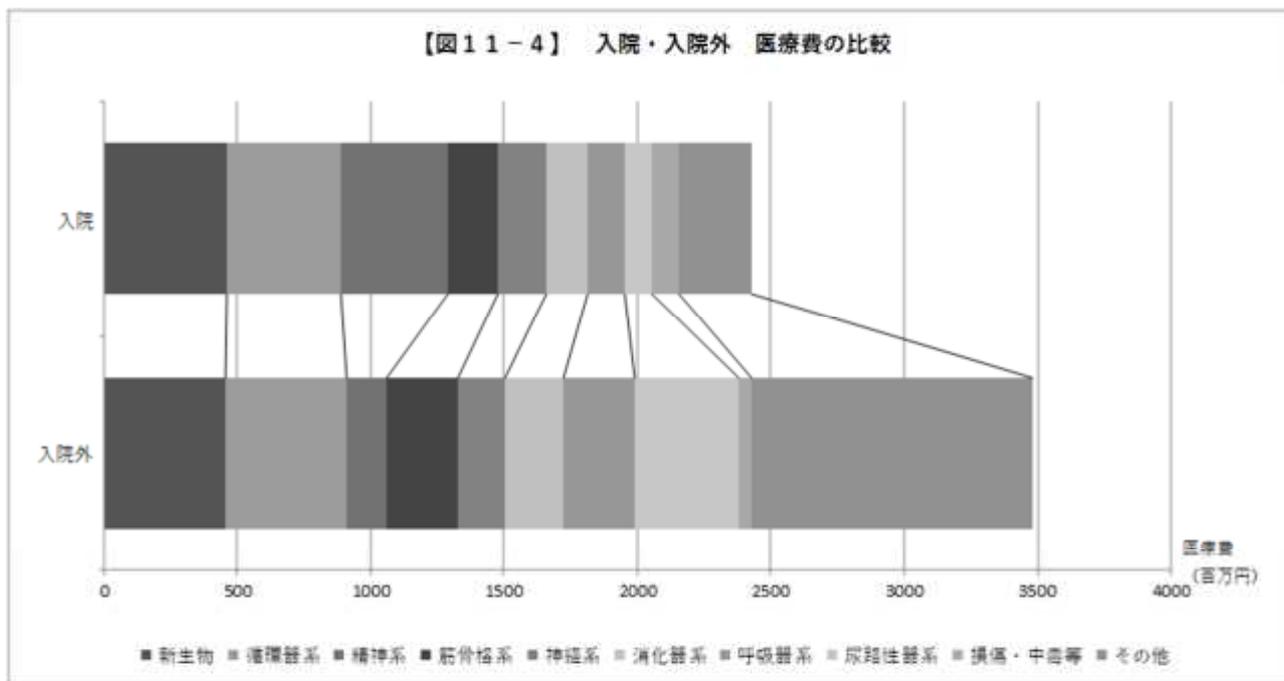
「循環器系」の疾患は、患者数が多く医療費も高額であるが、「新生物」の疾患は、患者数は少ないが罹患した場合の医療費が高額になる疾病と言える。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（大分類）」)

③入院・入院外別 医療費の比較

入院外はレセプト件数が多く、医療費も高額になっているが、「精神系」「損傷・中毒等」の疾病についてはレセプト件数の少ない入院の方が高額になっている。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（大分類）」)

(5) 細小分類別 疾病分類別医療費の状況 (あきる野市 平成30年度)

① 疾病分類別医療費の状況 (入院)

医療費、レセプト件数、レセプト一件当たり医療費のそれぞれ上位10疾病をまとめた。

医療費、レセプト件数いずれも「統合失調症」が一番多く、また、上位10疾病を見ると、「脳梗塞」「狭心症」「がん」など、生活習慣病が多く見られる。

医療費 上位10疾病

医療費順位	疾病名	医療費(円)	レセプト件数 順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	統合失調症	233,074,390	1	57
2	大腸がん	106,613,920	3	10
3	うつ病	80,462,680	2	56
4	不整脈	79,646,410	12	4
5	骨折	73,113,790	4	30
6	脳梗塞	69,447,900	5	26
7	関節疾患	65,817,430	6	18
8	肺がん	64,441,450	8	15
9	慢性腎臓病(透析あり)	43,530,360	15	13
10	狭心症	39,803,370	11	38

レセプト件数 上位10疾病

レセプト件数 順位	疾病名	レセプト件数(件)	医療費順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	統合失調症	653	1	57
2	うつ病	220	3	56
3	大腸がん	136	2	10
4	骨折	119	5	30
5	脳梗塞	103	6	26
6	関節疾患	90	7	18
7	大腸ポリープ	89	25	72
8	肺がん	86	8	15
9	白内障	85	17	65
10	小児科	84	15	59

レセプト一件当たり医療費 上位10疾病

レセプト一件当たり 医療費順位	疾病名	レセプト一件当たり 医療費(円)	医療費順位	レセプト件数 順位
1	大動脈瘤	2,188,157	18	45
2	クモ膜下出血	1,699,290	22	40
3	心臓弁膜症	1,475,929	20	35
4	不整脈	1,171,271	4	12
5	心筋梗塞	1,169,507	26	37
6	脳腫瘍	1,098,836	35	46
7	白血病	1,048,668	31	43
8	喉頭がん	930,828	45	53
9	子宮体がん	917,420	47	54
10	大腸がん	783,926	2	3

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(細小分類)」)

※細小分類は全82疾病+小児科で構成されており、この分類にない疾病については「その他」の項目にまとめて集計されている。この調査では、「その他」に分類されたものを除いて順位を掲載した。

②疾病分類別医療費の状況（入院外）

各集計の上位10疾病には、「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」などの生活習慣病が多い。「慢性腎不全」は、生活習慣病を原因に発症するケースが多く、医療費も高くなっている。「C型肝炎」については、効果が高く高額な薬剤の使用が認可されたことが医療費に反映されていると考えられる。

医療費 上位10疾病

医療費順位	疾病名	医療費(円)	レセプト件数 順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	糖尿病	281,346,340	3	38
2	慢性腎臓病(透析あり)	269,599,850	20	2
3	高血圧症	219,485,470	1	77
4	脂質異常症	182,108,480	2	72
5	小児科	125,846,470	4	80
6	関節疾患	112,355,990	5	42
7	不整脈	87,536,560	8	30
8	肺がん	74,052,080	33	5
9	うつ病	64,122,910	6	59
10	骨粗しょう症	61,761,350	7	53

レセプト件数 上位10疾病

レセプト件数 順位	疾病名	レセプト件数(件)	医療費順位	レセプト一件当たり 医療費順位
1	高血圧症	17561	3	77
2	脂質異常症	12537	4	72
3	糖尿病	10801	1	38
4	小児科	10727	5	80
5	関節疾患	4752	6	42
6	うつ病	3319	9	59
7	骨粗しょう症	3052	10	53
8	不整脈	2921	7	30
9	気管支喘息	2691	11	43
10	緑内障	2686	15	75

レセプト一件当たり医療費 上位10疾病

レセプト一件当たり 医療費順位	疾病名	レセプト一件当たり 医療費(円)	医療費順位	レセプト件数 順位
1	脳腫瘍	437,993	37	75
2	慢性腎臓病(透析あり)	407,251	2	20
3	腎臓がん	263,062	35	65
4	白血病	257,253	30	62
5	肺がん	229,975	8	33
6	クローン病	204,127	29	54
7	卵巣腫瘍(悪性)	203,240	38	66
8	C型肝炎	188,182	19	41
9	肝がん	178,594	47	72
10	膵臓がん	137,566	33	51

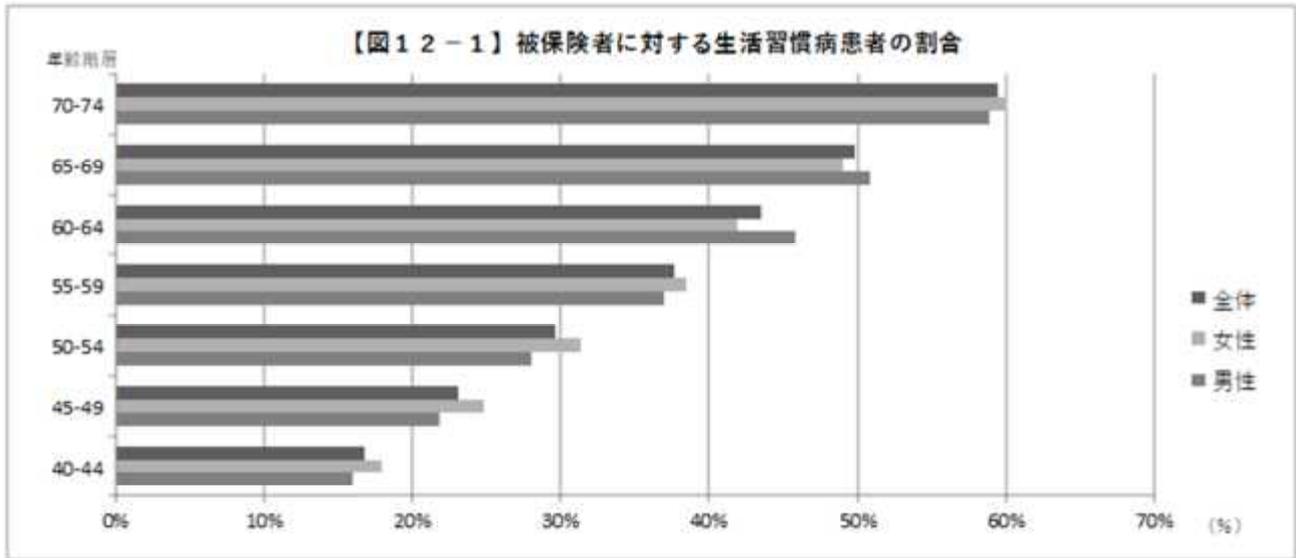
(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析(細小分類)」)

(6) 生活習慣病に係る医療費の状況

①生活習慣病患者の年齢階層別割合

生活習慣病は年齢が上がるごとに有病率が高くなる。ここでは40歳から74歳までの被保険者の状況について調査する。

図12-1では平成30年3月診療分のレセプトの中で生活習慣病と診断された患者を調べ、年齢階層ごとに被保険者数に対する割合を算出した。年齢階層は40歳から5歳ごとに区切っている。



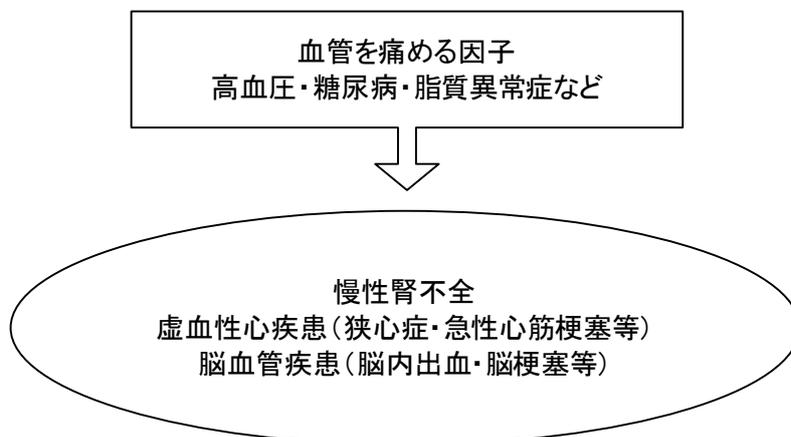
(資料：KDBシステム「厚生労働省様式(様式3-1)生活習慣病のレセプト分析」)

※生活習慣病分類疾病

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、脂肪肝、動脈硬化症、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、その他厚生労働省で定めた疾病のこと。そのうち脳出血、脳梗塞等は「脳血管疾患」、狭心症、心筋梗塞等は「虚血性心疾患」に集計上まとめて分類する。また、生活習慣病が原因となることが多い「慢性腎不全(透析あり)」のレセプトにも関連付けて分析する。

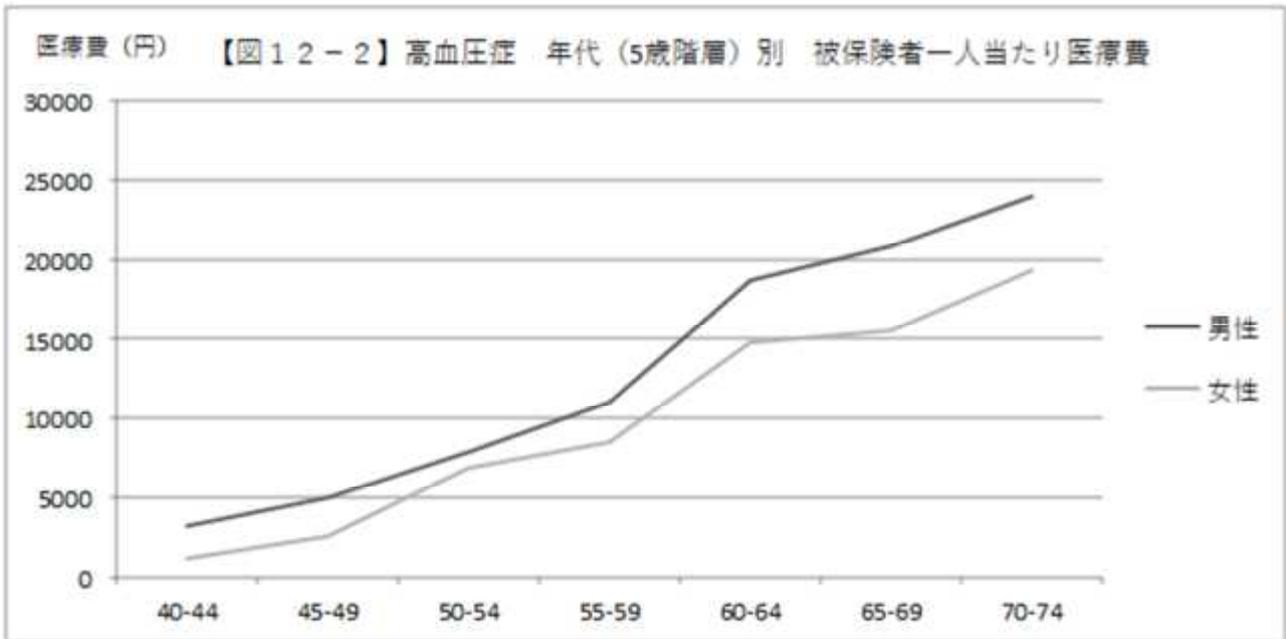
② 生活習慣病の原因になる因子

「慢性腎不全」、「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」は、「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」などの原因によって発病リスクが高まる。ここでは血管を痛める3因子の医療の状況について分析する。

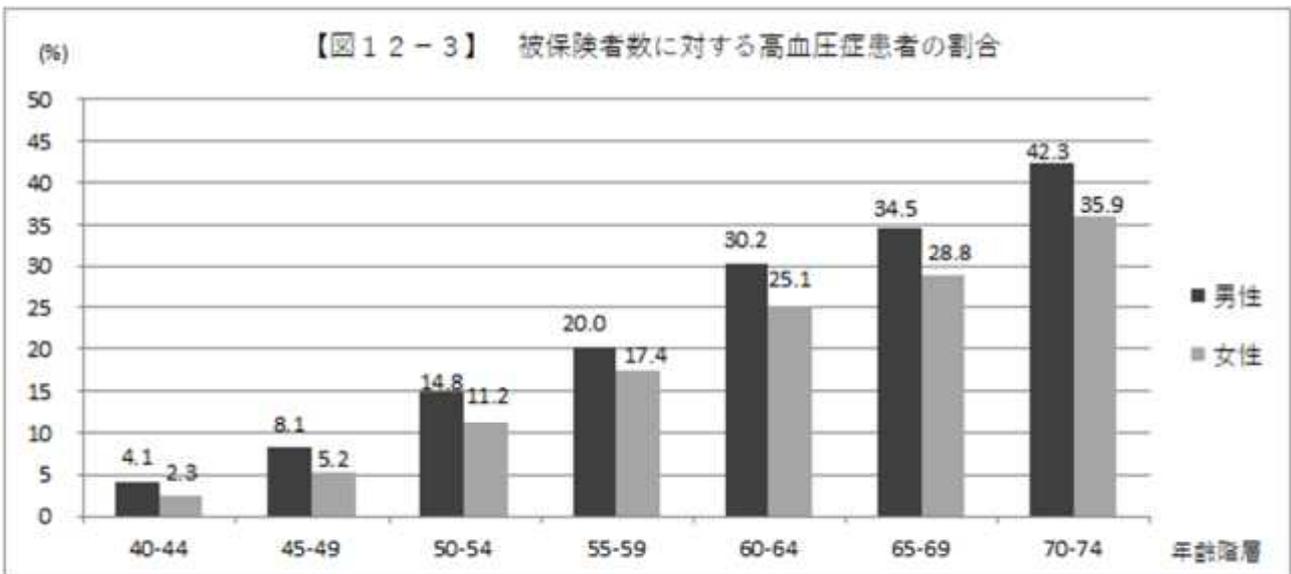


(ア) 高血圧症の医療の状況

図12-2は本市の高血圧症の被保険者一人当たり年間医療費（平成30年度）、図12-3は被保険者に対する高血圧症と診断された患者の割合（平成31年3月診療分）を示している。

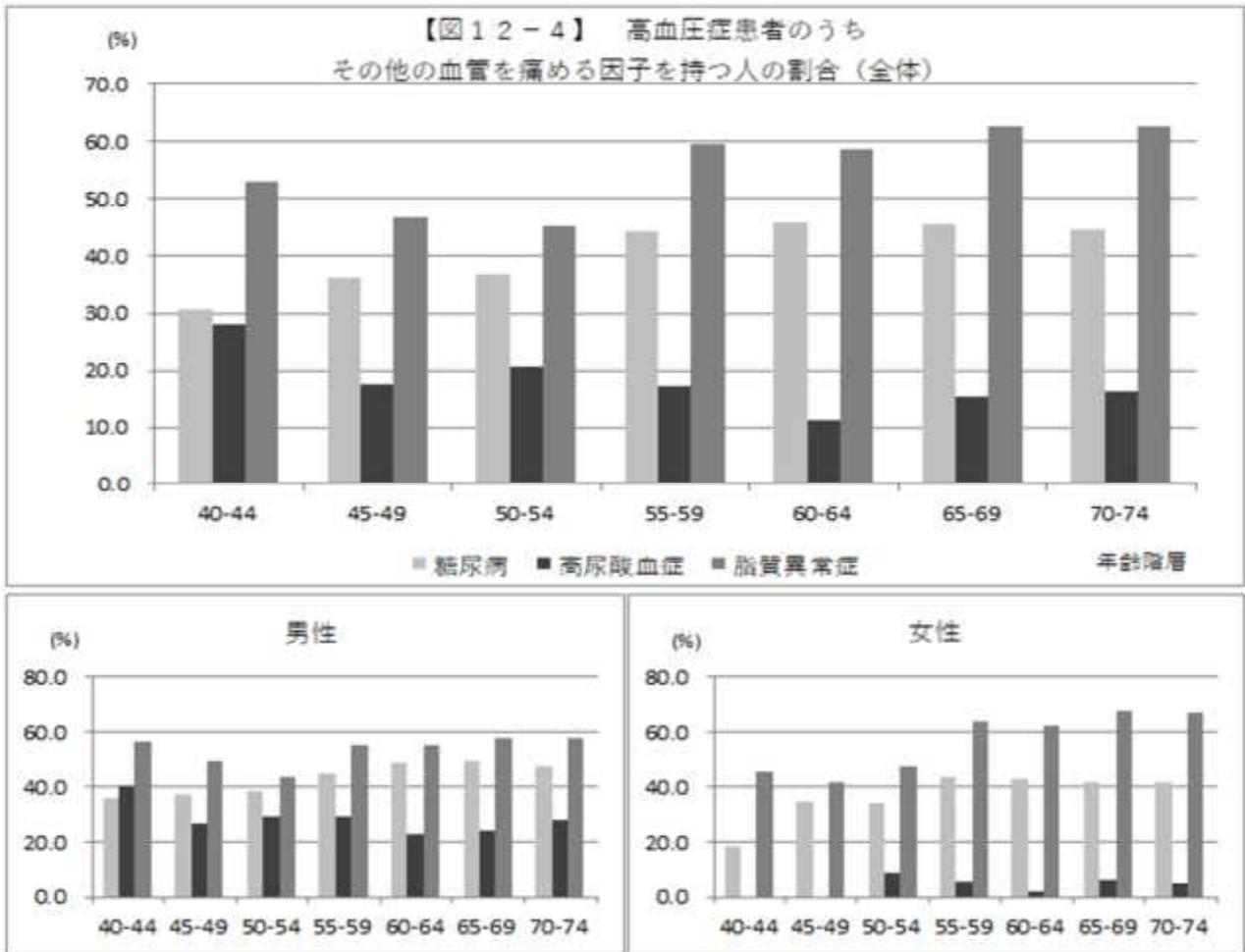


（資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」）



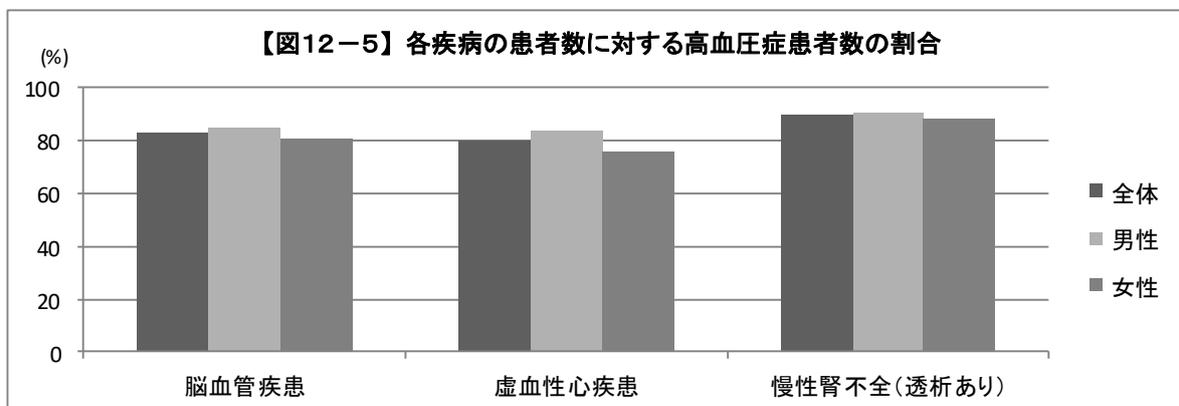
（資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-3）高血圧症のレセプト分析」）

図12-4は平成31年3月診療分のレセプトで高血圧症と診断された人のうち、「糖尿病」「高尿酸血症」「脂質異常症」の診断も受けている人の割合を示している。



(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-3）高血圧症のレセプト分析」)

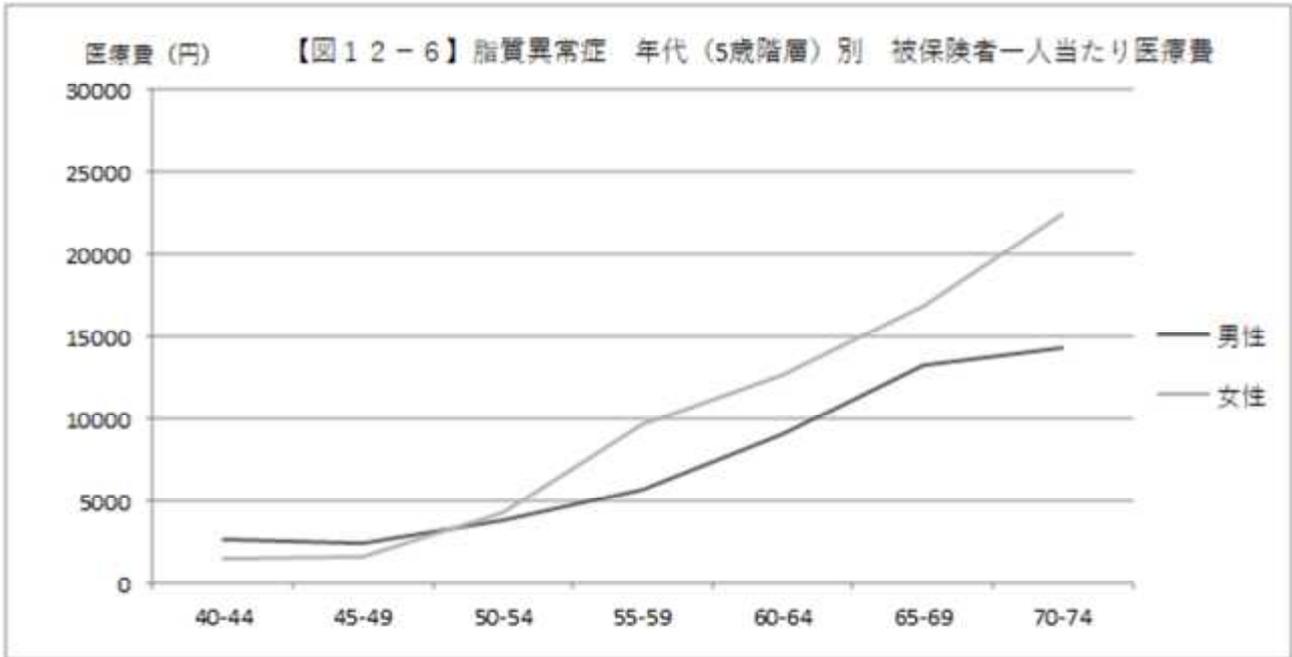
図12-5は平成31年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全（透析あり）」と診断された人のうち、高血圧症の診断も受けている人の割合を示している。



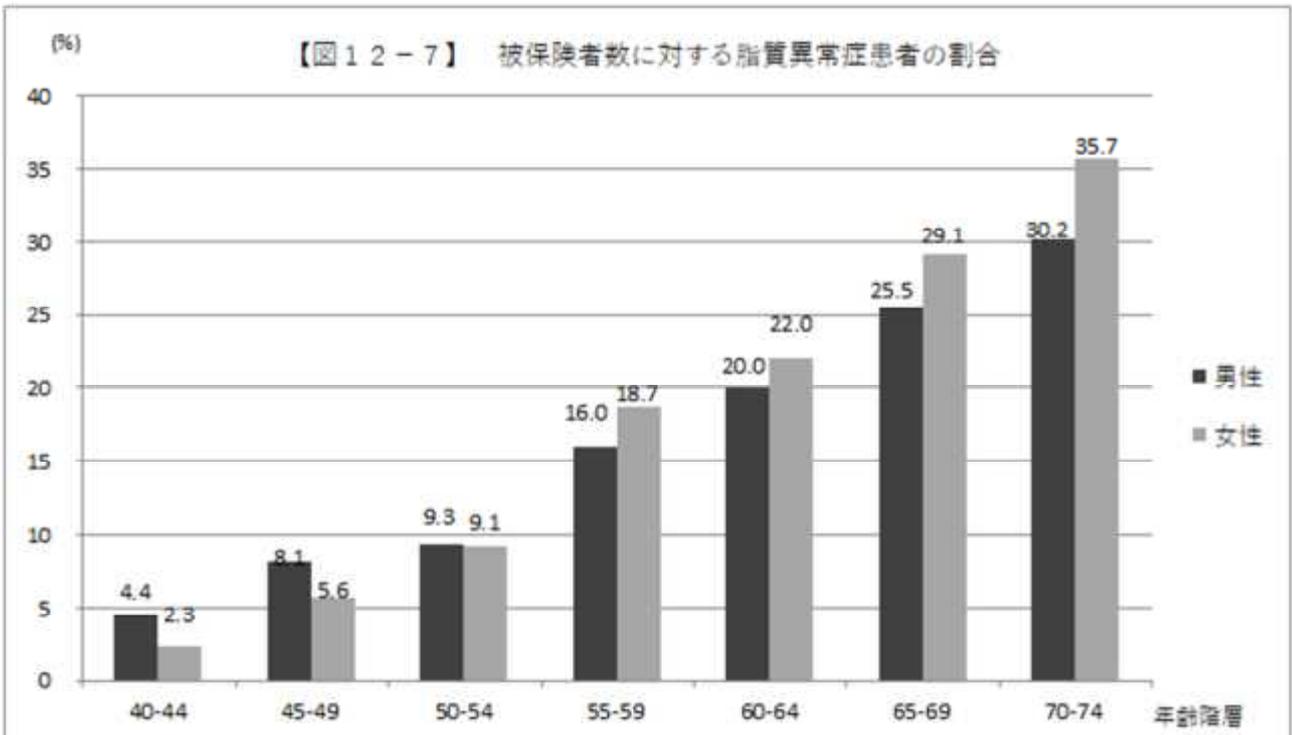
(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-5）虚血性心疾患のレセプト分析、（様式3-6）脳血管疾患のレセプト分析、（様式3-7）人工透析のレセプト分析」)

(イ) 脂質異常症の医療の状況

図12-6は本市の脂質異常症の被保険者一人当たり年間医療費（平成30年度）、図12-7は被保険者に対する脂質異常症と診断された患者の割合（平成31年3月診療分）を示している。

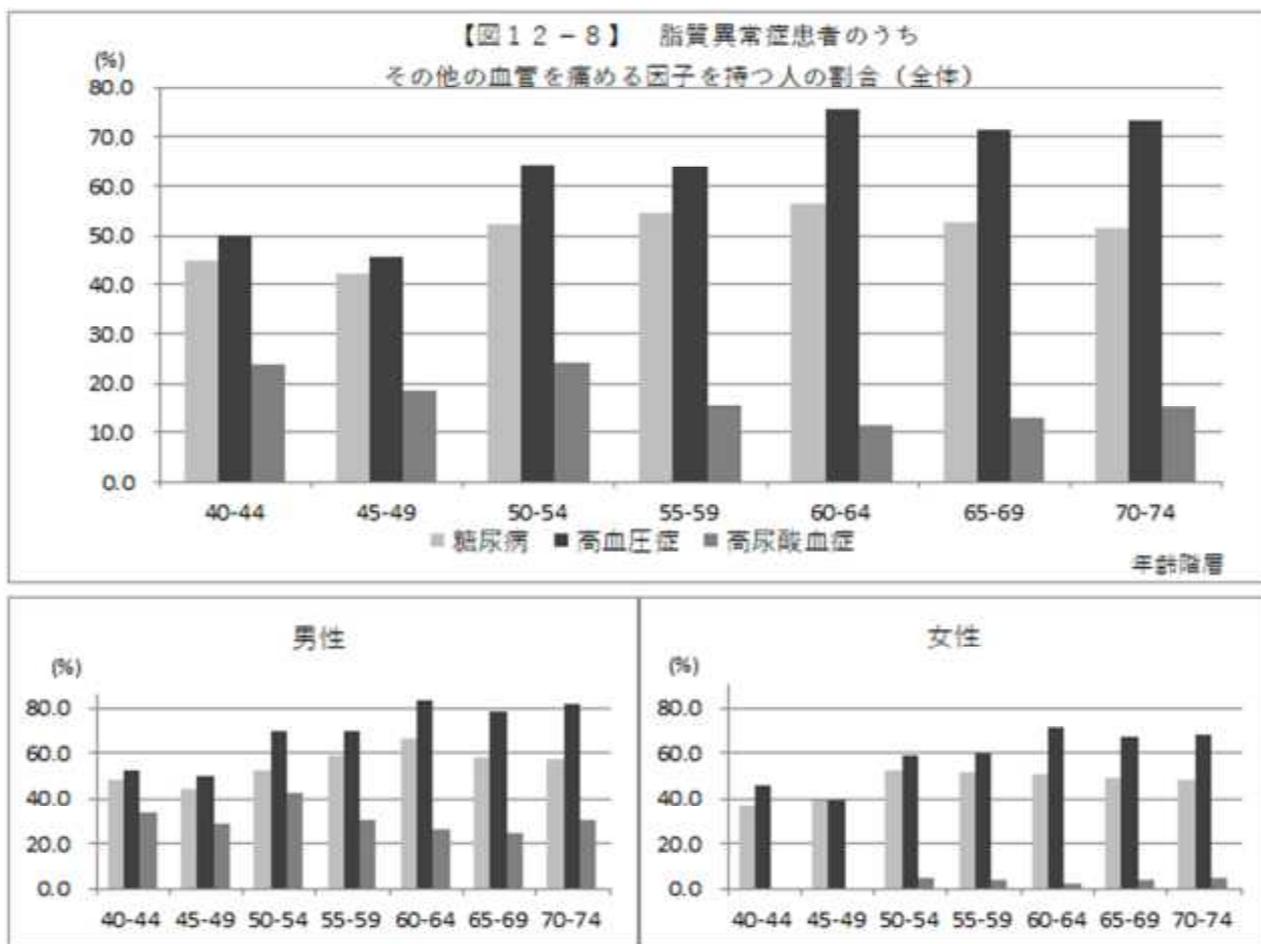


(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)



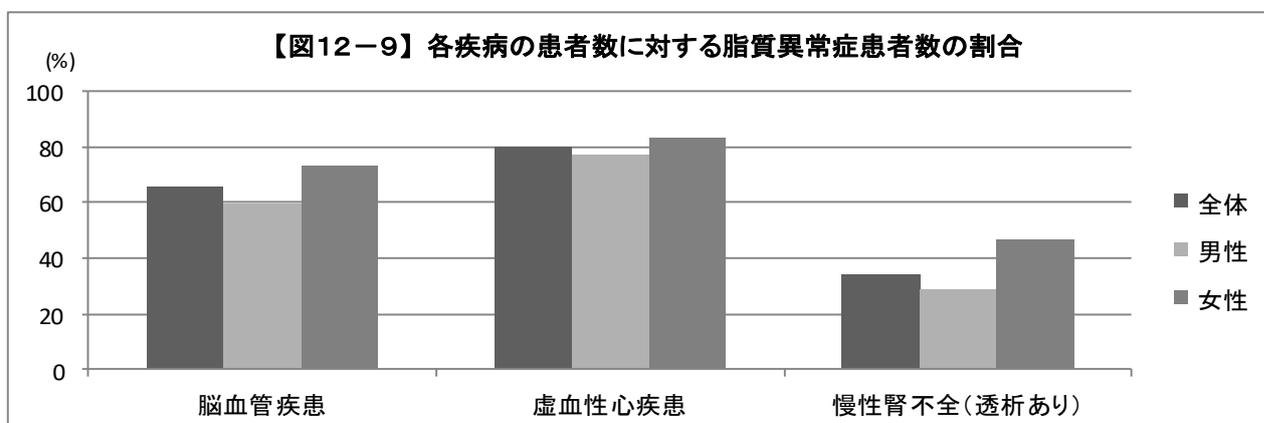
(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-4）脂質異常症のレセプト分析」)

図12-8は平成31年3月診療分のレセプトで脂質異常症と診断された人のうち、「糖尿病」「高血圧」「高尿酸血症」の診断も受けている人の割合を示している。



(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-4）脂質異常症のレセプト分析」)

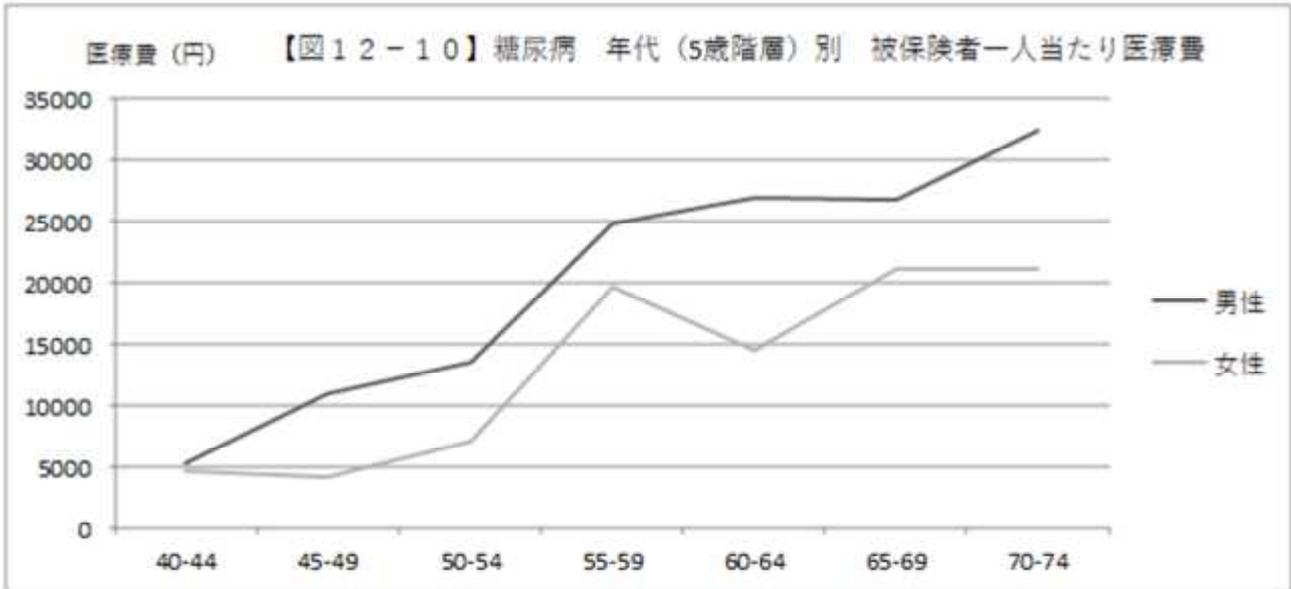
図12-9は平成31年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全（透析あり）」と診断された人のうち、脂質異常症の診断も受けている人の割合を示している。



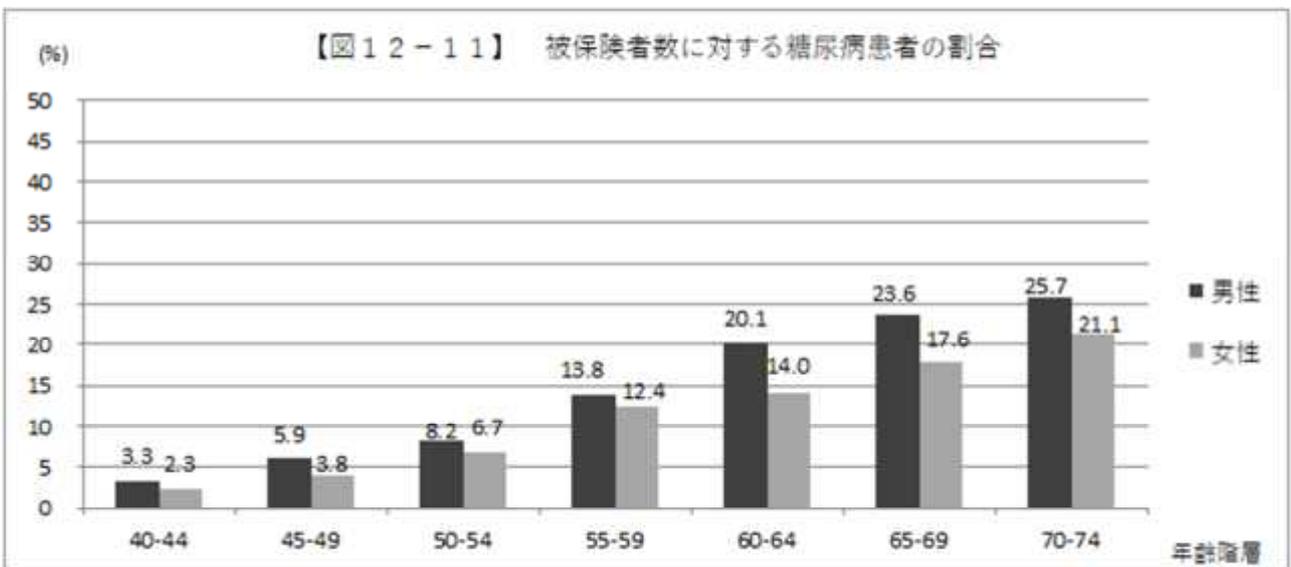
(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-5）虚血性心疾患のレセプト分析、（様式3-6）脳血管疾患のレセプト分析、（様式3-7）人工透析のレセプト分析」)

(ウ) 糖尿病の医療の状況

図12-10は本市の糖尿病の被保険者一人当たり年間医療費（平成30年度）、図12-11は被保険者に対する糖尿病と診断された患者の割合（平成31年3月診療分）を示している。

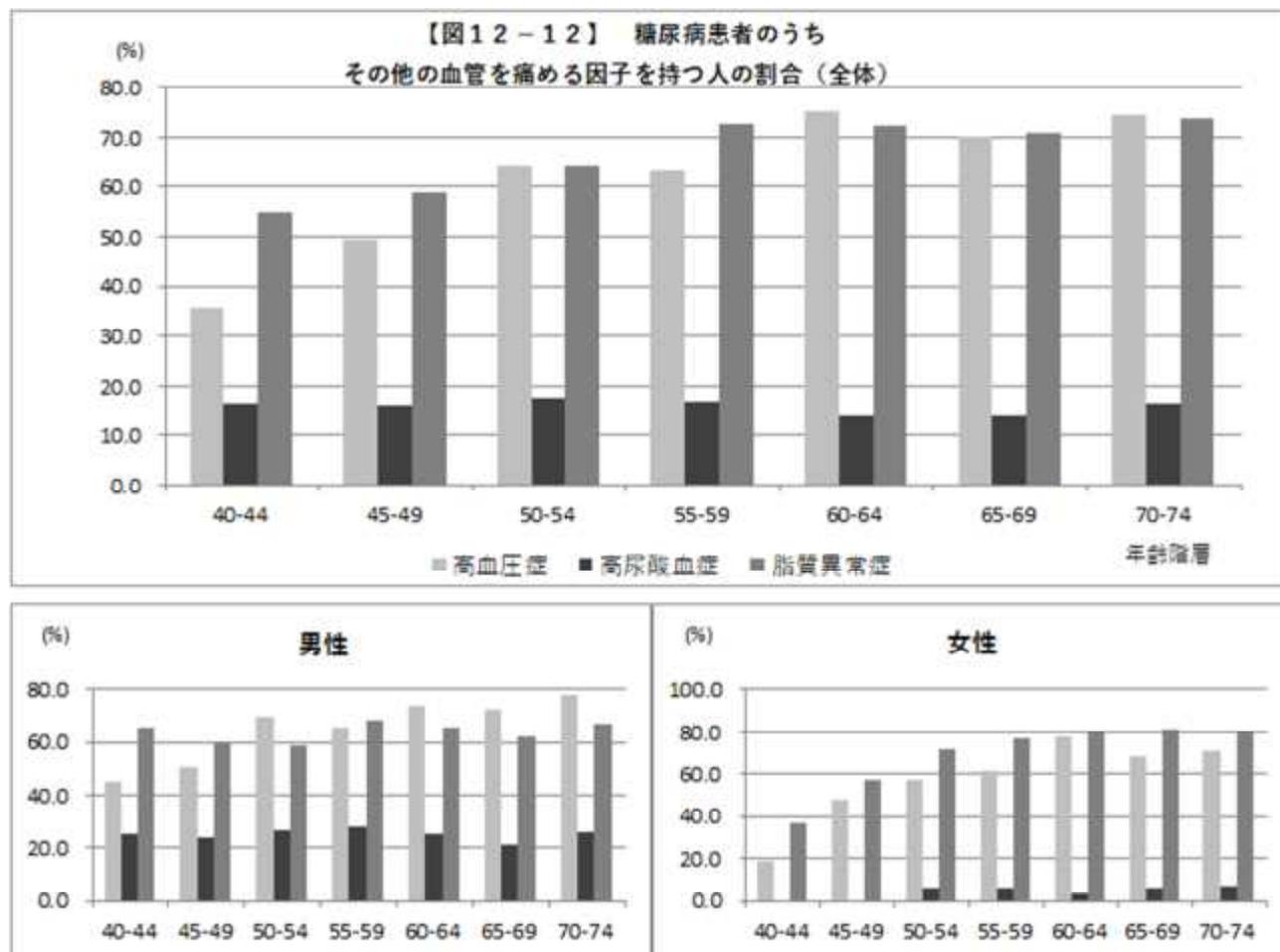


（資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」）



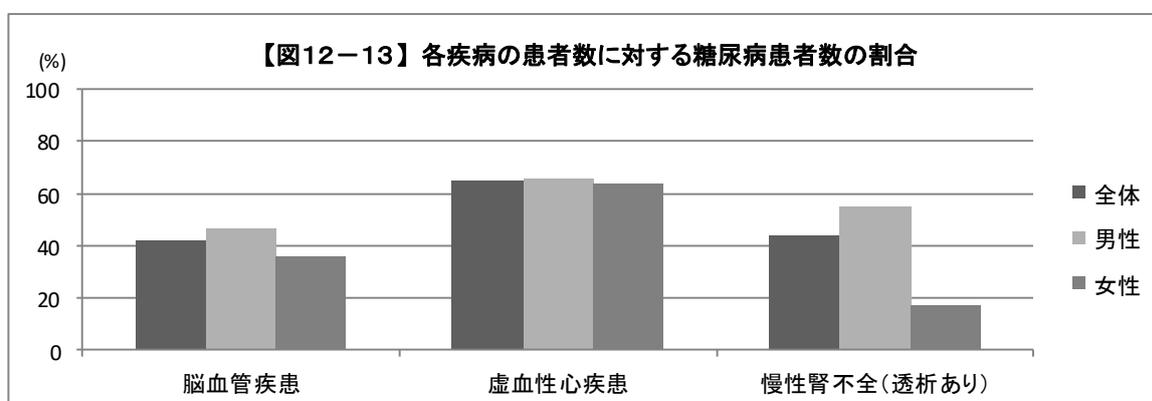
（資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-2）糖尿病のレセプト分析」）

図12-12は平成31年3月診療分のレセプトで糖尿病と診断された人のうち、「高血圧症」「高尿酸血症」「脂質異常症」の診断も受けている人の割合を示している。



(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-2）糖尿病のレセプト分析」)

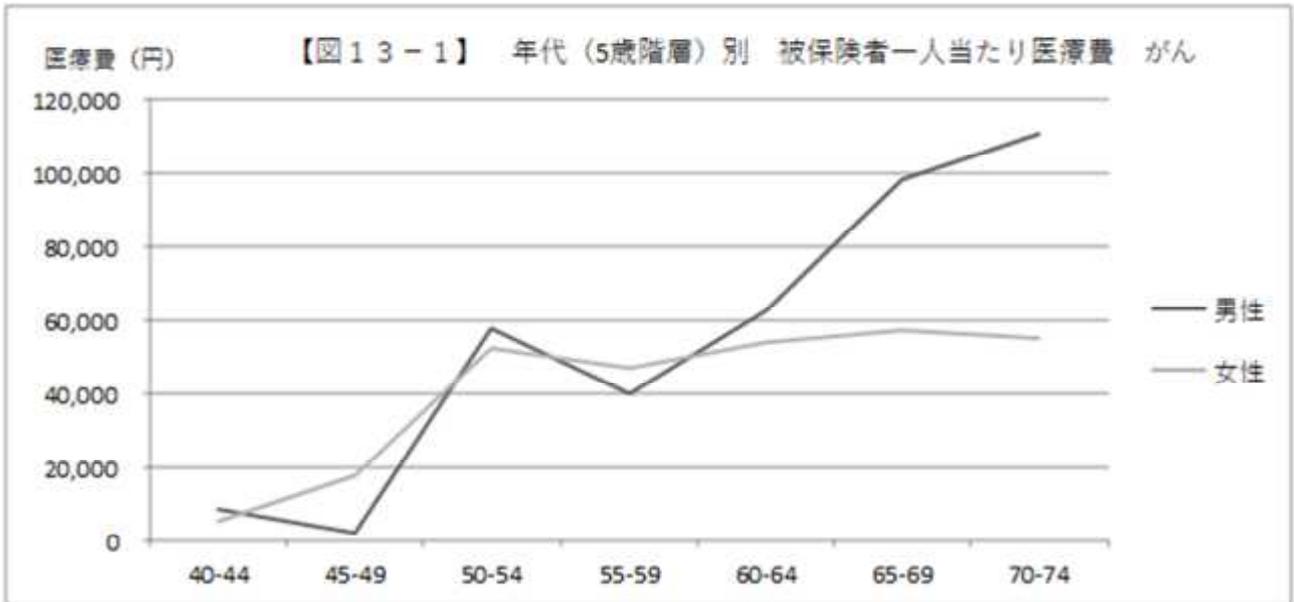
図12-13は平成31年3月診療分のレセプトで「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「慢性腎不全（透析あり）」と診断された人のうち、糖尿病の診断も受けている人の割合を示している。



(資料：KDBシステム「厚生労働省様式（様式3-5）虚血性心疾患のレセプト分析、（様式3-6）脳血管疾患のレセプト分析、（様式3-7）人工透析のレセプト分析」)

(7) がんに係る医療費の状況

図13-1は本市のがん（悪性新生物）の被保険者一人当たり年間医療費（平成30年度）を示している。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

がん（悪性新生物）は発症部位に男女差があるため、男女の疾病別に医療費を集計し、以下の表に上位10位をまとめた。

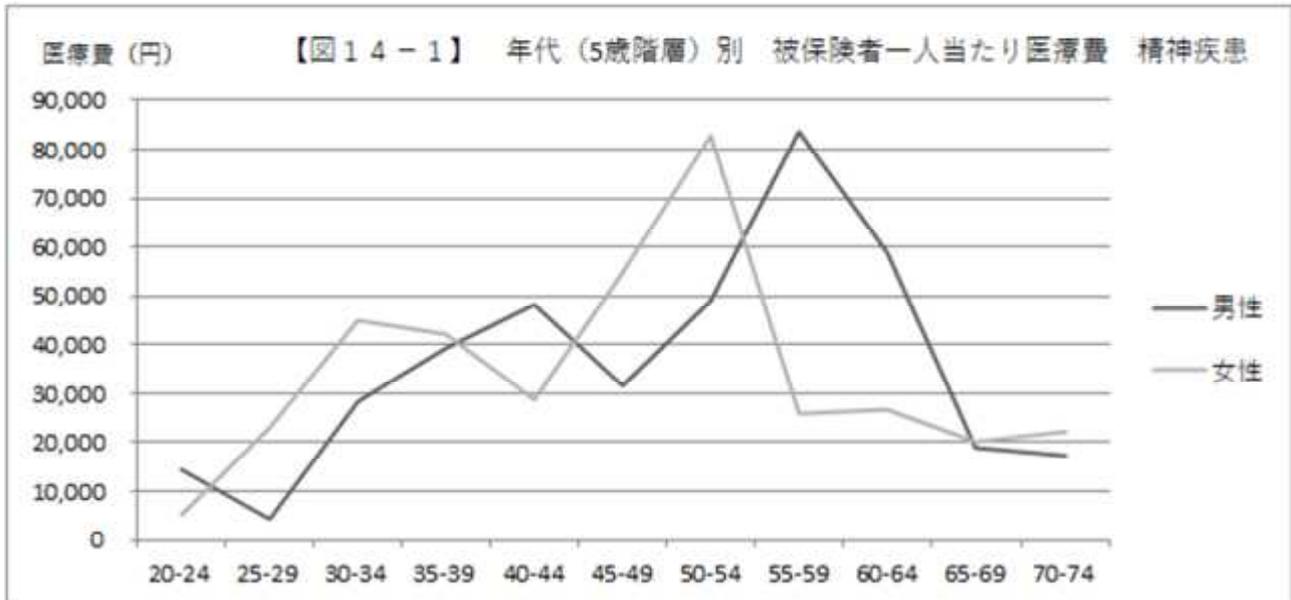
男性		単位 (円)
順位	疾病名	医療費
1	大腸がん	107,058,470
2	肺がん	106,810,520
3	前立腺がん	49,174,730
4	胃がん	47,616,310
5	膵臓がん	18,348,140
6	食道がん	16,134,200
7	脳腫瘍	14,734,960
8	膀胱がん	14,388,760
9	肝がん	6,245,410
10	喉頭がん	1,886,890

女性		単位 (円)
順位	疾病名	医療費
1	乳がん	53,540,160
2	大腸がん	49,313,190
3	肺がん	31,683,010
4	胃がん	17,429,930
5	卵巣腫瘍(悪性)	12,861,420
6	膵臓がん	12,825,470
7	腎臓がん	12,698,610
8	膀胱がん	11,252,210
9	子宮頸がん	11,149,800
10	子宮体がん	6,341,780

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小分類）」)

(8) 精神疾患に係る医療費の状況

図14-1は本市の精神疾患の被保険者一人当たり年間医療費（平成30年度）を示している。他の生活習慣病については40歳以降で罹患することが多く、医療費についても40歳以降で急速に上昇していたため、被保険者一人当たり医療費は40歳以降に絞って集計したが、精神疾患については、20歳以降では年齢との相関性がなかったため、20歳以降の医療費を集計した。



(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（生活習慣病）」)

細小分類では、「うつ病」「統合失調症」「認知症」が精神疾患として分類されている（他にも精神疾患に分類される病名はあるが、細小分類では「その他の疾病」に分類されている）。

外来と入院のレセプト件数を見ると、外来では「うつ病」が最多となっているが、入院では「統合失調症」が最多となっている。

疾病名	女性			男性		
	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費
うつ病	1,943	33,306,000	17,142	1,376	30,816,910	22,396
統合失調症	1,254	28,849,620	23,006	1,130	24,717,200	21,874
認知症	14	329,980	23,570	10	143,940	14,394

疾病名	女性			男性		
	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費	レセプト件数	総医療費	レセプト一件あたり医療費
うつ病	113	41,571,590	367,890	107	38,891,090	363,468
統合失調症	315	115,655,010	367,159	338	117,419,380	347,395
認知症	19	12,025,080	632,899	39	24,887,900	638,151

(資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小分類）」)